

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月 2日 更新

事務事業名		簡易水道整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	9	住環境の充実				所属課	上下水道課	担当者名	西本 尚弘
	基本事業	24	水の安定供給				所属班	管理工務班	(内線)	1153
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	簡易水道の配水管・配水施設等整備事業。平成9年度から水道を計画的に整備し清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。水道使用者数(給水件数)は平成18年度末(18、769件)から平成23年度末(20、555件)までの5年間で約1、786件増加していて年々増加傾向にあり、それに伴い配水施設も増加している。平成28年度からは、上水道に統合予定。
【業務の流れ】	簡易水道の配水管・配水施設等整備の設計事務、業者選定、契約事務、現場監督、竣工検査。簡易水道の配水管の修繕に伴う修繕依頼、監督、修繕費積算、請求。
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
【前年度内容】竹迫地区簡易水道事業配水管布設替設計業務委託および工事		配水管布設替測量設計業務委託および工事、配水施設等設備更新設計業務委託および工事。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 簡易水道の配水施設数	箇所	配水管布設替工事箇所の増および配水施設等設備更新工事の増	
→ イ 簡易水道の配水管布設工事延長	m		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
簡易水道配水管及び配水施設。簡易水道使用者。	人	→ ア 簡易水道使用者数	
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
簡易水道配水管及び配水施設を計画的に布設・設置出来る。安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。	%	→ ア 水質、水圧への苦情に対する処理率	
		→ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
簡易水道の配水管・配水施設等の整備を行うことにより、豊富低廉な水の供給及び公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られるため			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	見込
① 活動指標	ア	箇所	5	5	5	5	5	5	5	
	イ	m	207	594	200	363	3,325	604	460	
② 対象指標	ア	人	5,269	5,611	5,611	5,611	5,611	5,611	5,611	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円		6,681	32,389	28,200	41,469	28,840	40,026
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円		13,300	109,300	164,000	111,000	57,680	80,052
		その他	千円	30,576	13,694	68,311	20,837	81,718	69,573	56,217
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	30,576	33,675	210,000	213,037	234,187	156,093	176,295
		(A) のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A) のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,565	4,159	4,038	3,256	4,038	4,038	4,038
	トータルコスト(A)+(B)		千円	32,141	37,834	214,038	216,293	238,225	160,131	180,333

事務事業名	簡易水道整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 工事の発注見通しが出来ており、工事の期間も余裕を持って完了できるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 普及率がほぼ100%に近い数値に達しているが、安定的な配水供給のための布設替えを進めることにより、水質、水圧への苦情に対する処理率を向上させる余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度までに、上水道事業への統合を進める。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は工事請負費、委託料であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。品質の高い設備建設のため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他事業（下水道整備）との兼務で事業に当たっており、これ以上削減する余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 配水管を整備するすべての水道使用者に受益機会があり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 簡易水道整備事業として、清浄かつ豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善は行政が行う事業である。そのため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成28年度までに簡易水道事業を上水道事業へ統合する事業を進めており、計画的な布設替え等、予定した工事等を完了することができ、水質、水圧への苦情に対する処理率も目標達成することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<